

■ 7-ル熱 ■ (咽頭結膜熱)

のどの痛みと発熱、目の充血が特徴です。目やにや、鼻くしゃみやせきにウイルスが含まれていて、それらに感染するとつります。感染力が強いので、きょうだいでも同じウイルスがばらばらに広がります。



登園許可証明書の提出が必要です

■ 水ぼうそう ■ (水痘)

- 37~38℃くらいの発熱
- かゆみの強い赤い発疹が、胴体から全身に、豆粒ほど広がる
- 赤い発疹が水泡になる → 黒いかさぶたになる

かきむしらないように、つめは短く切りましょう。

登園許可証明書の提出が必要です

予防接種について

予防接種を受けた後、副反応が現れる場合があります。予防接種の計画を立てられる時は、登園前ではよく登園後に受けられますよう、よろしくお願いいたします。



おくすりについて

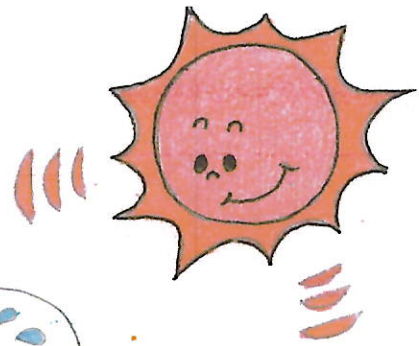
病気の時に、飲み薬・塗り薬が出る場合がありますが、園ではお薬を飲ませたり、塗ることができません。飲み薬を処方してもらう時には、なるべく朝・夕の2回にしていたらいいよう、病院の先生にご相談下さい。申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。



夏の水分補給

人は汗をかくことで、体温調節をしています。体内の水分が不足すると、汗が出せず体温が上がってしまいます。特に子どもは脱水症状を起こしやすいので、注意が必要です。

- 1回にたくさん飲ませるのでなく、少しずつ、回数を多くして飲ませましょう。
- ジュースではなく、お水かお茶にしましょう。
- 子どもはのどの渇きに気付きにくいので、前もって飲ませるようにしましょう。



熱中症

こんな様子が見られたら
急ぎ病院へ！

- 唇や皮膚がカサカサしている
- おしっこが普段より少ない
- 暑いのに汗をかいていない
- 顔色が赤い、または青白い
- 体が熱い、ほてる
- うとうとしている、ぐったりしている

強い日差し、暑さの中で、心臓に負担がかかる熱中症です。低年齢（特に）体温調節の機能が未熟で、代謝も活発なので、多くの水分が必要です。こまめに水分をとらしましょう。

- $\geq 39^{\circ}\text{C}$ 以上の熱がある
- けいれんしている
- 意識がたふ
- 水をまったく飲まない

↓ この場合



救急車を呼びましょう



手足口病

口のひら、足の裏、口の中に小豆大（米粒大）の発疹や水疱がでる。おしっこや皮膚の柔らかいところにもできます。



熱が出たり、下痢やおう吐することもあります。

口の中が痛くて食欲が落ちるので、ポリオや野菜スープなどのどろりの良いものを食べさせましょう。

おくに髄膜炎などの合併症を起こすこともあるので注意が必要です。



登園許可証明書の提出をお願いします